会報第12号

フォーラムニュース

NPO法人　奈良21世紀フォーラム
（2006年6月30日発行）

会員各位へ緊急連絡

フォーラムの事務所が後記の住所に仮移転しました。

「入会金半額に」今年度総会開く

平成18年度の通常総会は、奈良市菅原町の喜光寺で開催。この寺は庶民を率いて大仏建立にも尽力した行基入寂の寺として知られている。

当日は東大寺大仏殿を彷彿させる本堂（重要文化財）に41名の会員が集合、山田法胤住職から行基の業績を伺う。

（本堂の周りにはたくさんの蓮の鉢が置かれ、6～8月に清楚な花が咲くとのこと、花の季節に訪れてみたくなるお寺）

総会では、平成17年度事業報告と決算を承認、今年度の事業として、携帯電話の普及などによって私たちが文字を書かなくなり、子供の学力低下が懸念される現状から、漢字をもとに「書の都」再生を呼びかけるビデオを制作するなど、5項目を決定。また会員を増やすため入会金を5000円に減額することを決める。この日は、吉野川の水源地で「源流の森」を守る活動を続けている川上村の代表が駆けつけ、スライドを使って現状を説明、更なる支援を訴える。

（総会風景）

最後に皆さんで、「いろは写経」なるものに挑戦。

（写経風景）

過って、時の政府の弾圧にものともせず農業用ため池や橋を造って、社会奉仕をした「行基さん」を偲び解散。

大和の食文化を考えよう

黒滝「朴の葉ずし」づくりを体験

緑滴る5月26日。この時期限定の「朴の葉ずし」づくりを体験しようと、吉野の黒滝村を訪れた。場所は、山里を再現したリゾート施設「森物語村」に移築された庄屋。

広い土間に足を踏み入れると、柑橘系の爽やかな香りが・・・。その正体は花瓶に活けられた「朴の花」。初めて目にする乳白色の大輪の花の美しさにみんなは釘付けになる。しばらく花を楽しんだ後、すしの材料である朴の葉、すし飯、削ぎ切りにしたシメサバが用意された隣の部屋へ。

（朴の葉）

すでにスタンバイの「食生活改善推進員」（略称：食推員）10名のみなさんのご指導のもと、すしづくりを開始。鮮やかな緑色の葉表を上にしてすし飯をのせ、手前に向けた葉先をくるっと向こう側にころがしながら、両端を折り包み込む。そしてすき間なく木箱に詰め、最後は重しをする。

おしゃべりしながら器用に手先を動かす女性の面々。慣れない手付きで葉っぱをもてあます男性、かと思えば「オレ、案外上手（うまい）かも・・・」と得意げな男性も。和やかな雰囲気の中、体験は一時間ほどで終った。

お昼は自分たちで作った分を食べるのかと思いきや、こちらはお持ち帰り。食推員の方々が、前日に用意してくださった朴の葉ずしと、

（すしづくり）

炊き立ての茶粥を、手作りの山蕗の佃煮や梅干、漬物と一緒にいただく。一晩寝かしたすし飯は具の旨味がなじみ、とても美味しい。またサラサラと喉を通る茶粥を、何杯もお代わりした人も。

記念にと、集合写真を撮った後、御手洗渓谷へ。心配された雨に遭うこともなく、木々に覆われた遊歩道を下り、渓谷美を満喫。

（遊歩道を下り、渓谷美を満喫）

今回、素朴ではあるが、「food（食）は風土なり」の極みを味わうことができたように思う。温かくご指導くださった黒滝の食推員のみなさまに、心より感謝いたします。

次回は１１月に十津川村の「柚ゆべし」づくりの体験を予定。

森と水の源流館支援活動状況

実施日	実施内容	参加者
3月11日	和歌山県かつらぎ町環境フォーラム パネル展示・チラシ配布	足立、奥野、大辻、高松 計4名
3月19日	奈良新聞主催環境エコー展（県文化会館にて開催） パネル展示・チラシ配布・募金活動の応援	中村夫妻、鈴鹿、大辻 計4名
3月21日	源流の森の作業小屋建設に参加 	小南、中川 計2名
3月26日	道の駅 針（西名阪道路）にて 源流の森のパネル展示・チラシ配布応援	足立、小南 計2名
3月30日	あすかロータリークラブ例会に出席 水のはなしと9月3日吉野川源流清掃大会参加要請 会員 40名	
4月29日	源流館開館4周年記念イベント オープン時のボランテイア約60名参加	当フォーラムから3名参加
6月10日	理事長（大和ハウス工業（株）特別顧問）の元部下のOB会が水源地森守募金に26503円寄付	
6月22日	奈良西ロータリークラブ例会に出席 水のはなしと9月3日吉野川源流清掃大会参加要請 会員 40名	大辻
6月26日	大和ハウス工業関係の奈良県下の建築関連協会の総会に出席 源流の森支援と募金を要請	大辻
7月29日 ｜ 7月30日	「大和の水がめと県営水道」展（広陵町）に応援参加 パネル・ポスター・映像・子供の遊び 源流の森を観客に広くPR	大辻、小南、足立、中川、奥野 計5名
9月 3日	吉野川源流清掃大会に参加	
9月10日	第4回水源地森守募金イベントに参加 会場の源流館前にて、高原野菜販売で募金に協力	約10名予定

「万葉けまり」の活動状況

5月26日（金）　国際放送テレビに出演予定でしたが雨のため中止。

11月 4日（土）　四天王寺ワッソ（史跡難波宮跡公園）のけまりプリイベントに出演。

11月 5日（日）　四天王寺ワッソパレード

毛筆で「書く楽しさ」を伝えてみませんか

タイトル 「書くことは楽しい」

～書の都奈良の挑戦～

会員の皆様に実費でお分けします。

この映像ソフトは経済産業省のデジタルアーカイブ構想事業推進団体「デジタルコンテンツ協会」の支援で当フォーラムが制作し、昨年3月に完成した「究極の墨の色を求めて～古都奈良の墨づくり」の素材を再構築したもの。再編成に当たり、奈良県小・中学校書写教育研究会のご指導を受け、 活字離れしている児童・生徒に対して「毛筆で書く楽しさ」を訴えることを基本とした。

その内容は日本における墨の歴史や伝統的な技法で今も墨づくりを続ける奈良の工場や毛筆づくりの様子や生活の中に生きる書を紹介するほか、中学生が和紙に書いた漢字・仮名の多彩な墨の色をパソコンに取り込み、プリントによって、Tシャツなどに忠実に再現することなどの新しい表現や小学校の書写の授業風景などを紹介している。

国は文字・活字に親しみやすい環境整備のため昨年、「文字・活字文化振興法」を成立させ、10月27日を「文字・活字文化の日」とした。

この活動にご協力いただく意味でも、ぜひご購入いただき、子供たちに、毛筆で書く楽しさをお伝え頂くようお願い申し上げます。

なおデジタルコンテンツ協会のホームページ(http://www.dcaj.org/)の DCAJnews 最新号にDCAJ 事業成果の活用として紹介されました。

今後、奈良の墨、筆、和紙の伝統産業の活性化を願い、「書の都」奈良の再生を目指して、文字・活字文化について関心と理解を深めるために、新たなる映像ソフト「書写学習の充実」を企画しています。ぜひご購入にご協力賜りますようお願い申し上げます。

記

作品時間 20分

メディア VHSテープまたはDVD

価 格 ￥10000

(販売する VHS テープとDVD)

事務局だより

○ 事務所仮移転のお知らせ

ビル所有者の変更に伴い、現在の事務所を下記の住所に移転しました。それに伴い電話番号が変更になっていますのでご注意ください。

お越しの節は、近鉄大和郡山駅から奈良交通の若葉台行きにご乗車いただき、木島(コノシマ)でおおりください。バス停から2分。

○ ホームページ(http://www.h7.dion.ne.jp/~nara21cf/)訪問者は1700を超えました。

今後も新しい記事をどんどん書き込み更新を増やしますのでご期待ください。

編集 池辺忠男 安細恭弘 大辻康夫
中村陽子

発行 特定非営利活動法人
奈良21世紀フォーラム

発行責任者 事務局長 高岡幸雄

〒631－0054 奈良市石木町669
サンコート城庄C102

Tel&Fax 0742－51－7064

e－mail nara21c@r5. dion. ne. jp

http://www.h7.dion.ne.jp/~nara21cf/